

鹿児島全中 2025 参加報告書

令和 7 年 8 月 25 日

報告者 菅野 峻也

この度参加しました、標記大会への参加について報告します。
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

（大会名）	鹿児島全中 2025
参加者 （報告者）	（報告者） 菅野 峻也 （所属カテゴリー） 社会人
期 日	2025 年 8 月 22 日 から 2025 年 8 月 23 日
会 場	サンアリーナせんだい・西原商会アリーナ
講 師	JBA公認S級審判員/1 級IR 若林謙作(栃木) JBA公認S級審判員/1 級IR 細見竜太(大阪) JBA公認S級審判員/1 級IR 坂美佑紀(茨城) JBA公認S級審判員/1 級IR 千葉美幸(東京) JBA公認S級審判員/1 級IR 野崎梨奈(宮城) JBA公認S級審判員/1 級IR 青木紀江(静岡) JBA公認S級審判員/1 級IR 加藤暁生(東京) JBA 公認 S 級審判員/1 級 IR 東條輝正(東京)
参加者	本部審判員、P B A派遣審判員、九州ブロック派遣審判員 全 121 名
報告	●8 月 12 日（火）大会開催 1 週間前に Zoom を使用したオンライン研修会が開催された。 本研修会の目的 大会を成功させるために ①準備すべきものを具体的にイメージすること ②レベルの高い大会を運営できる高い結束力・信頼感をもったチーム作りの足掛かりとする ③それぞれのバックグラウンドをもった審判員が直接コミュニケーションを交わすことによって、メカニクス、判定基準、その他の擦り合わせを行う。 【研修 1】U15 全国大会における過去のトラブル共有 加藤暁生氏 【研修 2】ブレイクアウトルームに分かれ全中大会を想定したプレゲーム・カンファレンス 全体で情報の共有・講師よりコメント ※「金沢学院」vs「浜松開誠館」の対戦を担当するという想定 グループ ・前田隼大（鹿児島） ・新山亮祐（青森） ・岩瀬寛明（香川） ・上原大輝（沖縄） ・穴見健吾（大分） ・菅野峻也（報告者）

【研修3】U15カテゴリーを担当する上での留意点 東條輝正氏
(マンツーマンルール/インテグリティ/T0コントロール)

●8月22日(金) 女子1回戦 鹿児島純心(開催地) vs 五橋(東北2)

コート主任: 川井 剛(鹿児島)

CC: 青木紀江(静岡県S級) U1: 奥村麻美(宮崎県B級) U2: 報告書

【試合内容】

第1Qは鹿純心がオールコートマンツーマン、五橋がハーフコートマンツーマンで開始。純心は粘り強いディフェンスで得点を狙うも伸び悩み、五橋は3Pやドライブ中心に得点し、15-12で純心リード。第2Qは五橋が連続得点で同点に追いつき、前半は33-27と純心リード。

第3Qも純心がリードを保ち、五橋は3P連射で追いつけるも49-38で終える。第4Qは純心が追加点し、五橋も追いつけるが点差は縮まらず、59-55で鹿純心が勝利した。

【コート主任】

判定として、オビアスなものに、プライマリがしっかりコーリング出来ており、良かった。いくつか笛を入れたケースで、もう少しプレーを分析してノーコールに出来るケースがなかったかを映像を振り返り検証してもらいたい。最後まで諦めず、白熱した試合になり、3人で良いゲームを作れていた。という反省をいただいた。

●8月22日(金) 女子1回戦 新潟清心(北信越2) vs 竜操(中国1)

コート主任: 青木紀江(静岡県)

CC: 山室洋平(北海道A級) U1: 坂元辰哉(鹿児島県B級) U2: 報告書

【試合内容】

両チームともハーフコートマンツーマンで開始。竜操#9が先制し、速攻やスティールから得点を重ね、第1Qは10-24で終了。第2Qは新潟清心の#5、9の3Pや#17の攻撃も得点を重ねるが、竜操の攻撃を止められず、25-39に。第3Qは得点が伸び悩む中、竜操が#7を中心にリードを拡大し、33-49で終了。第4Qは竜操がインサイドで差を広げ、最終スコアは39-79。竜操が勝利を収めた。

【コート主任】

Lでのローテーションを何を目的として行くのかを3人で意識してほしい。

ローテーションに行くケースがいくつかあったが、必要なローテーションだったか、ピンチザポイント・バックペダルを使い分けると良かった。という反省をいただいた。

●8月23日(土) 男子決勝トーナメント1回戦

倉敷南(中国2) 豊野(関東2)

コート主任: 細見竜太(大阪府)

CC: 高橋和也(宮城県A級) U1: 永留佑一(福岡県B級) U2: 報告書

【試合内容】

第1Qは両チームともオールコートマンツーマンディフェンスで開始。倉敷南が3ポイントやドライブでリードし、16-9で終了。第2Qは豊野がディフェンスを強化し、点差を縮めるも倉敷南が前半を33-23でリード。第3Qは一進一退の攻防となり、倉敷南が46-36で折り返す。

	第 4Q は豊野がディフェンスを強化し、得点を詰めるも、倉敷南が安定したプレーでリードを維持し、59-49 で勝利した。 【コート主任】 前半、豊野のキーマンになる選手2人が前半3つのファールとなった。早い段階で笛を入れたことで、その後のファールを吹きにくくなったのではないか。そこに対してテンポセットとして、笛入れたが本当に必要な笛だったのかを再確認してほしい。という反省をいただいた。
所感	中学3年生にとって、集大成となる最後の全国大会でレフェリーとしてオンザコートに立つことができ、貴重な経験を得ることができました。ブロック講習生としての活動を通じて身に付けた知識や技術を、全国大会という舞台で発揮できたと思います。ただ、試合を通じてまだまだ足りない部分も多くあることを実感しました。 今回の経験を今後の活動の糧にし、さらなるスキルアップを目指していきたいと考えています。 最後になりましたが、改めて大会を運営・開催していただいた皆様、私を全国大会へ派遣いただきまして誠にありがとうございました。 薦田審判長をはじめ、日ごろお世話いただいております審判員の皆様に深く感謝申し上げます。 以上で、私の報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。